



信頼される医療・介護の提供と
地域リハビリテーションの拠点をめざして



一般社団法人 鶴岡地区医師会

鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

〒997-0752 山形県鶴岡市湯田川字中田35番地10
TEL.0235-38-5151 FAX.0235-38-5152
ホームページ <http://tsuruoka-med.jp/yutagawa/>



基本理念

私たちは、患者・利用者の皆様の尊厳と自己決定権を尊重し、心の通った医療、介護とリハビリテーションを提供します。

基本方針

1. 患者・利用者に必要な情報を提供し、良質で安全・安心な医療、介護とリハビリテーションを提供します。
2. 地域の医療・介護・保健福祉施設等との連携を図り、地域包括ケアシステムの構築に貢献します。
3. 緊密な職種間連携の下、患者・利用者の権利を尊重し、信頼関係の構築に努めます。
4. 公共性に配慮しつつ、健全な病院運営に努めます。
5. 湯田川温泉を有効活用するとともに、療養環境の充実に努めます。
6. 医療人としての職員教育に努め、病院機能の充実・向上を図ります。

個人情報を守ります

当院では、患者さん等に安心して医療・介護サービスを受けていただくために個人情報保護方針を定め、患者さん等の大切な個人情報をお守りします。

特徴

当院は、平均寿命の伸長と疾病構造の変化により、療養病床に対するニーズが拡大することを踏まえ、リハビリテーション医療を中心とした回復期・慢性期医療の充実と介護保険制度の円滑な運営に努め高齢者等の自立生活を支援いたします。

病院概要

<input type="checkbox"/> 名称	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	<input type="checkbox"/> 外来診療	
<input type="checkbox"/> 開設者	鶴岡市	診療日	月曜日～金曜日 (祝日及び年末年始を除く)
<input type="checkbox"/> 管理運営	一般社団法人 鶴岡地区医師会	診療時間	午前8時30分～午後5時30分
<input type="checkbox"/> 診療科	内科、脳神経外科、リハビリテーション科	<input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション	
<input type="checkbox"/> 病床数	120床	介護予防通所リハビリテーション	
	第1病棟 40床(回復期リハビリテーション病棟)	営業日	月曜日～土曜日(年末年始を除く)
	第2病棟 39床(医療療養病床・ 地域包括ケア病床)	営業時間	午前8時30分～午後5時30分
	第3病棟 41床(回復期リハビリテーション病棟)	利用定員	40名



鶴岡市立湯田川温泉
リハビリテーション病院
院長 武田 憲夫

当院のご紹介

リハビリテーション病院は、急性期病院（荘内病院や日本海総合病院など）で治療を受け、そこでの治療が終わっても、まだ自分の力では歩けない、身の回りのことが出来ない、仕事に戻れない方々を、リハビリテーションで機能を回復させ、元の仕事、元の生活が出来る様にする病院です。そのために、患者さんやご家族に、病気に立ち向かう勇気と希望と元気を持って頂けるよう、職員一同は、寄り添い、励まし、誠実に、そして明るく笑顔で医療、看護・介護、リハビリテーションを提供します。また、入院期間中に、職員は協働して、再発予防のための治療方針の策定、生活習慣の改善、時に過剰になっている服薬の整理、退院後の生活方針のアドバイスなども行います。コロナ感染症が蔓延している中で、面会制限はありますが、少しでも患者さんが心安らかに入院生活を送れますよう努力致します。疑問の点、ご心配な点があれば、遠慮なく担当スタッフにお尋ね下さい。

365日リハビリテーションを提供し、 在宅復帰を目指したリハビリテーションを積極的に行っています

当院は急性期病院で治療後の患者さんを対象に、症状に応じたリハビリテーション、回復に向けた治療を提供しています。脳血管疾患や骨折などの患者さんの自宅退院や社会復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する回復期病棟と、病気の長期化や重度の障害の患者さんに対して医療処置を提供する療養病床及び在宅で療養されている方や施設に入所されている方で、発熱や腰痛、転倒などで具合が悪くなり、入院加療が必要と判断された方をお受けする地域包括ケア病床があります。

また、回復期病棟では1年365日、土・日・祝日も平日と同じように毎日リハビリテーションを行っています。



<患者さんの一日の流れ>



病棟では、訓練室で行っているリハビリテーションが生活の場で出来るようになるため、全員で行う立ち上がり訓練や看護計画に沿って個別に行う坐位や歩行、段差の跨ぎ訓練、更衣やトイレ動作訓練などを行っています。

理学療法(P T)

病気やケガをした患者さんの身体の状態に合わせ、生活に必要な『起きる・立つ・歩く』などの基本動作を練習します。また、転倒予防に向けた自主練習を提案します。より安全な生活が送れるように支援します。



作業療法(O T)



着替え・トイレ・入浴・家事動作等の日常生活の中で「できる最大限の能力」が引き出せるように練習し、身体状態に合わせ福祉用具を提案します。また、より充実した生活が送れるよう趣味活動や対人交流の場を提供します。

言語聴覚療法(S T)

脳卒中などでコミュニケーションや飲みこみが難しくなった方々の支援を行っており、症状に合わせて、はっきり話すこと、注意・記憶・理解力を高めること、安全に食べられることを目標に練習しています。



患者さんの在宅復帰・社会復帰を目指して、

ポイント1 患者さんの状態・目標に合わせたリハビリ

患者さんやご家族の意志を尊重し、寄り添いながら、可能な限りその人らしい生活を送ることが出来るように一人ひとりの状態に合わせたリハビリテーションを提供しています。医師や病棟スタッフ、リハビリスタッフ間で情報交換を密に行いながら、連携を図り、効果的なリハビリテーションを提供しています。

また、訓練室で行うリハビリテーションとは別に各病棟では下肢筋力強化と耐久性の向上に向け、立ち上がり訓練とラジオ体操を行っています。集団で行う事によって、同じような立場にある仲間同士が回復を目指し取り組むことが出来ます。



ポイント2 退院後の生活を見据えて、入院から退院までを

※
【カンファレンス】 ※より良い医療サービスを提供するための会議

カンファレンスに患者さんやご家族の方に積極的に参加して頂き、情報を共有しながら、問題点・目標・具体的な訓練について話し合いを行い、主体的なリハビリが提供出来るように意思をくみ取り、多職種協働のもと退院支援に取り組んでいます。



多職種協働のもと、より良い看護・リハビリテーションを目指して、リハビリテーションの目標や内容を話し合い、退院にむけた看護記録カンファレンス・認知症カンファレンスなどを行っています。



【NST(栄養サポートチーム)】

全ての患者さんに、身体状況や血液検査、ミールラウンド(多職種による食事場面の評価・観察)、口腔内などの問題点、筋力低下の確認を踏まえ、日常のエネルギー消費量を詳しく設定し、患者さん一人ひとりに合わせた栄養量を把握し、入院から退院まで定期的に栄養評価を継続しています。



ミールラウンド



この患者さんの
栄養量は…



多職種が連携して総合的に支援しています

テーションを提供



病院敷地内での屋外移動訓練



病棟での集団による機能訓練



広い敷地内の通路を使った自転車訓練



実際に食材を使った調理訓練



入浴シミュレーターを使った入浴訓練

多職種で支援（カンファレンス、NST、在宅生活に向けた支援）

【退院前・退院後自宅訪問、相談支援】

入院中に患者さんの自宅へ行き、その方に合った動きの練習や手すりの設置等の福祉用具を提案し、また退院後にも自宅で安全に生活できているかを確認するための自宅訪問を行い支援しています。

各病棟に相談員を配置し、患者さん・ご家族に対する介護・医療・障害等の制度の紹介や経済的な問題などの各種相談に応じ、退院に向けて関係機関と連携しながら支援しています。



ポイント3 リハビリテーションの一環として、様々なレクリエーションを実施

各病棟では週1~2回、「魚釣り」「すごろく」などのレクリエーションを行っています。身体を動かし声を出すことでリフレッシュしています。また、患者さんが入院生活を少しでも楽しく過ごせるように、病院全体で季節ごとのレクリエーションを行っています。

- 春：お花見会・お茶会
- 夏：夏祭り
- 秋：体育文化祭
- 冬：クリスマス会



病棟での「魚釣り」



夏祭り

自動車運転シミュレーターを使用した 自動車運転再開に向けた取り組み

《 運転希望の確認 》



自動車運転シミュレーターで練習を行います

《 医学的及び機能的評価 》

医学的所見や運転に必要な運動機能、判断力などの評価を医師及びリハビリテーションスタッフが行います



《 面談 》

評価結果を説明し、教習所利用について検討します

教習所を利用する場合



《 教習所での実車評価 》

リハビリテーションスタッフと自動車教習所の教官同乗のもと、教習所内コースや市街地の路上を運転し、評価を行います。



《 最終評価・面談 》

これまでの結果を踏まえ、医師及び担当スタッフが総合的に判断し、当院としての見解をお伝えします



《 終了 》

※入院中に運転再開が困難であった場合は必要に応じ、外来にて自動車運転評価を行っています。



広い運転画面(34インチ3台)など、実用性の高い自動車運転シミュレーター

教習所を利用しない場合

2014年6月、2017年3月に、道路交通法が一部改正され、脳卒中、脳挫傷、認知症など事故に繋がる可能性のある病気になった場合、医師が運転再開が可能かどうかを判断することが求められるようになりました。当院では、このための自動車運転の評価を行っています。当院入院中の患者さんやご家族が自動車運転再開をご希望の場合には、医師、リハビリテーションスタッフが必要な検査を施行し、安全な運転が可能かどうかの評価を行います。

自動車運転シミュレーターの導入により、実際の運転に近い練習や評価が可能となりました。また、教習所での実車評価も行っています。その結果を踏まえ、医師及び担当スタッフが総合的に判断し、当院としての見解をお伝えしています。

〈検査機器の紹介〉

・MRI (磁気共鳴断層撮影装置)

この装置は、脳や脊髄、骨盤内などの病気について、磁気を使い画像診断する装置です。X線を使わず人体にやさしい検査であり、また、造影剤を使用することなく脳血管の画像をみることが出来、さらに腰椎、脊髄なども鮮明に写るため、腰痛などの原因を調べるための機器としても有用です。



・X線TV撮影装置

X線テレビ装置は、造影剤を使い、食道や胃などの検査に使用します。当院では主に、患者さんの食事の飲み込みの様子(嚥下機能)を観察するために利用しています。



地元の食材を活かし、美味しさにもこだわった食事を、
患者さん一人一人の状態に合わせて提供しています



ひなまつり献立



開院記念日献立



体育文化祭献立

地元で取れた食材を多く使用し、患者さん個人のニーズに適した食事の提供に努めるとともに、選択メニュー、季節に合わせた郷土料理などを多く取り入れています。また、ひなまつりや、天神祭、クリスマスなど年間35回以上の行事食を提供しています。

更に、NST(栄養サポートチーム)活動と連携して、徹底した個人対応の食事を目指し、常食や軟菜食(おかずがやわらかい食事)、ソフト食(飲み込みやすい食事)を始め、減塩食やエネルギー制限食、病態(糖尿病、腎臓病)に合わせた治療食まで、1食平均で33種類の食種を提供しています。

当院のお風呂は湯田川温泉の源泉を引いています



温泉を使った「水治療法」



湯田川温泉

庄内三名湯の一つとされる湯田川温泉の源泉を使用し、デイケアのお風呂として利用しています。また、温泉を治療用のプールにため、血流改善や浮力を利用し体への負担を軽減して行う「水治療法」も行っています。



デイケアのお風呂

デイケア(通所リハビリテーション)のご案内

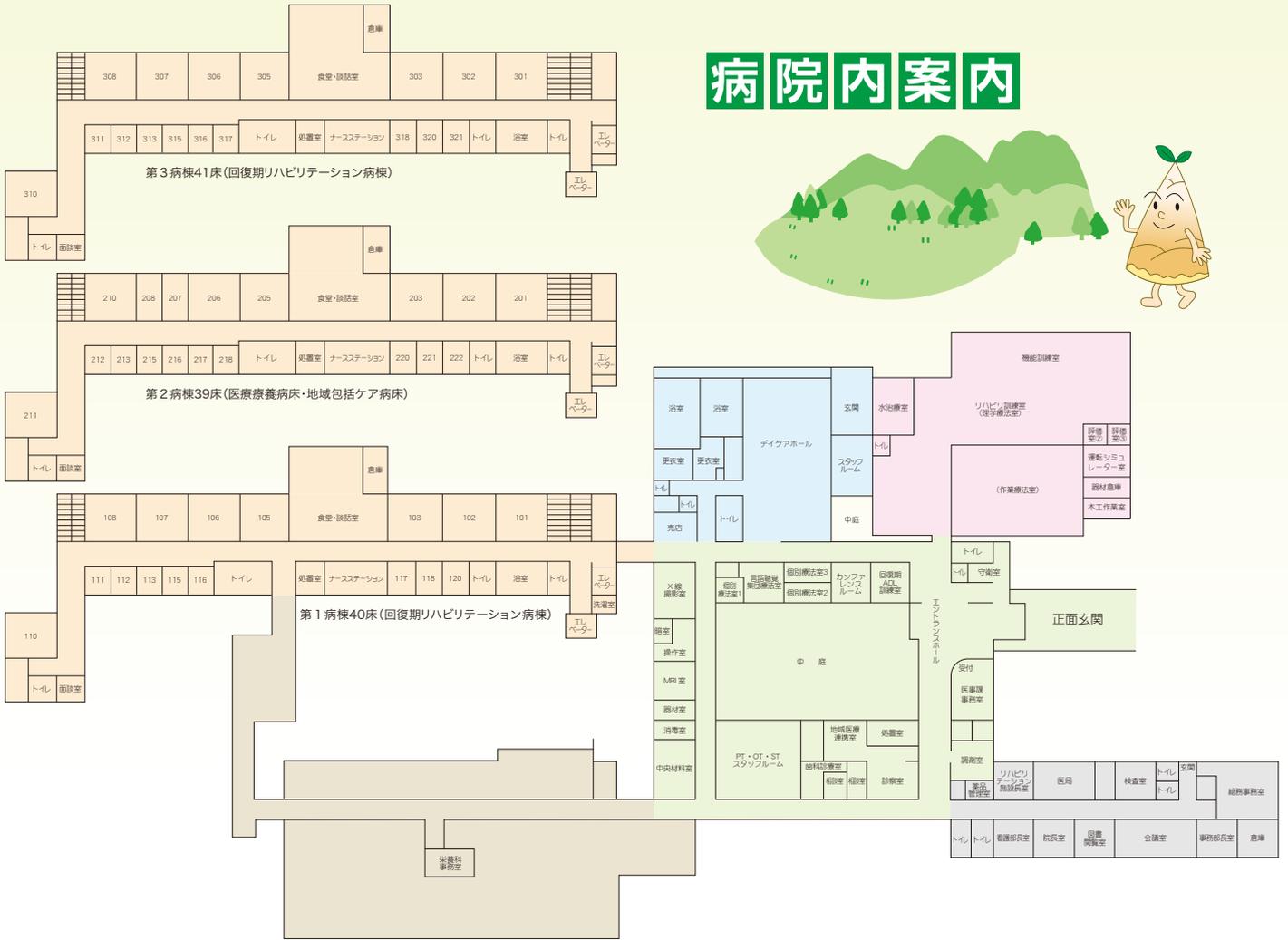
介護保険法による要支援・要介護状態にある方に、通所リハビリテーション計画に基づくリハビリテーションを提供することにより、可能な限りご自宅で、その有する能力に応じ自立した生活を送ることができるよう支援しています。

リハビリテーション専門スタッフの指導によるリハビリテーション(集団、個別)、安全な送迎、湯田川温泉の源泉を利用した入浴、バランスのとれた昼食、四季折々のレクリエーションなどのサービスを提供しています。



デイケアのグループリハビリテーション

病院内案内



ご案内地図



- JR鶴岡駅より湯田川温泉方面行バスで約30分「湯田川温泉リハビリテーション病院前」下車
- 庄内空港より車で約20分
- 山形自動車道・鶴岡ICより車で約10分